NVC Monthly

同好会ニュース

寝屋川映像同好会会報
第７１号（２０１５０６）
発行　竹 田 幸 男

映像協会初級撮影・編集講習会（野崎観音）

■映像協会主催、初級撮影・編集講習会

５月２１日（木)、午前９時にＪＲ東寝屋川駅に１２名が集合、野崎へ向かい駅構内から撮影を開始。駅前から参道に沿って野崎観音へ、途中あらかじめ用意した撮影ポイントで画角や撮影姿勢も含めた提案を行いながら撮影を進め、１２０段の石段も克服して本堂へ。好天に恵まれつつ三十三所観音堂、石造九重層塔、お染久松の塚など歴史にまつわる説明を聞きながら撮影に打ち込みました。

撮影は午前中で終わり、東寝屋川のいづみやで昼食、寝屋川市民会館へ向かい

ました。ここで今撮ってきた映像をパソコンに取り込んでプロジェクターで編集状況を公開し、ナレーション、ＢＧＭも付けて編集の実技概要を学んで頂きました。

例会の窓

■ 平成２７年５月例会

日　時：平成２７年５月１３日（水）
　　　　１３：３０　市民活動センター
　　　　　　　　　　４Ｆ　ワーキングスペース

出席者　新井　天野　小笠原　小林　佐伯　竹下
　　　　竹田　谷　田渕（50音順・敬称略）

欠席者　なし

例会次第

１．各会員の最近の活動状況･情報交換

２．　報告・連絡・協議事項

（１）会報随想筆者　田渕さん

（２）初級撮影会兼編集講習会の開催
・５月２１日（木）雨天の場合は２３日（土）９：００東寝屋川駅集合
・撮影地：野崎観音、午後は市民活動センター子供室において編集講習会
・参加予定者　新井　小林　佐伯　谷　　撮影・編集指導　竹田

（３）映像協会撮影会
・日時：６月１１日（木）９：３０寝屋川市駅集合　雨天中止
・場所：万博記念公園
・参加予定者

（４）７月の合同例会は別会場で
・レクリエーションを兼ねて光善寺・楽寿荘で
　７月１９日（日）１１：００集合

（５）今年の大阪アマチュア映像祭出品作品の検討
・６月例会で検討・７月合同例会で決定。

（６）移転に伴う機器の持ち帰り等の問題
・テレビ・プレーヤー等６月例会後持ち帰り　田渕さんに依頼

３．映写

・第６回、第７回ビデオ作品発表会の記録映像を持参、部分映写（全員にＢＤを配布）

（1）小笠原さん「春を食べる」　長時間の作品の一部を映写

・子どもたちも参加して「食育」を指向した行事と思われます。この映像は主催者側に提供する記録作品でしょう。この素材を使って要点を押さえ、短く編集されたらすばらしい映像作品になると思います。

（2）竹下さん「あすかの春」岡寺のボタンとシャクナゲ　　５分

・西国第７番の岡寺の花々が活写されています。背景も申し分ありません。欲を言えば、もう少し場面（カット数）を整理されたら、もっと引き立ってくるのではないでしょうか。

（3）竹下さん「醍醐寺の桜」　７分

・まだ編集中の作品のように見受けられます。もう少し場面を整理されればすっきりまとまるように感じます。

４．会員の当面する問題点等

５．来月の開催日　６／１０（水）１３時３０分　４Fワーキングスペース
　耐震工事のための移転前の最後の例会です。

家計簿を続けて１６年目

田 渕 健 二

私が家計簿を付けたいと思ったきっかけは、家内が買い物レシートを沢山残しているので「そんなもの集めてどうするのか？」と聞くと「役に立つ時がある」と云うのだが、邪魔になると思い、それなら家計簿を付けて必要な領収書だけ残せばよいのではと思い本屋に行く。

せっかく家計簿を付けるのなら いろんな「思い」が達成できるものにしたいと思い、沢山ある家計簿の中から「（株）学研パブリッシングの日記兼用」に決めた。

毎年家計簿を変えると 記入内容が異なるとまずいので、慎重に選んだ。

①1年間の収入と控除一覧表（自分なりに修正・項目を追加）

②光熱・水道・電話 一覧表（使用料　・料金）
③カード購入一覧表（利用日・購入品目・カード名・支払日）
④今月の行事一覧表

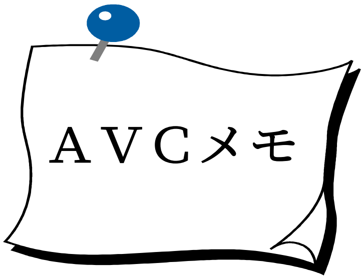
記入にあたっては次ぎのように決めた。
＊食品などのレシートは項目毎に記入し、全て処分する。
＊医療・公共料金・新聞・カード購入等の領収書は残し、年数を決めて処分。
＊各種行事の会費などは、実施される日付に記入。（備考欄に支払日を記入）
＊行事一覧は家族の関係するものを記入。（孫の行事で関係するものなども含む）

以上の項目・内容を取り決めて 活用しているが、これらを基に パソコンで一覧表を作るなど いろんな場で活用しており 自分でもうまくいっているなと思っている。

特に 冠婚葬祭など、兄弟・子供などからも問合せがあり、活用度大である。

家内から パソコンを活用すれば、収支も一覧出来るし そうしたらと云われるが全て自分のお金でやっており、儲かった・損をしたなど全く関係ないので、これで十分と満足している。

家内に自分でパソコンを活用してやってはと云うが、全くその気は無いようだ。



トランジションについて

竹 田 幸 男

しばらくハードウエア的な記事が続いたので、ここらでソフトウエア的な話題に転換します。トランジション（映像のカットとカットの間に挿入する切り替え効果のこと）は映像作品を華やかに彩る一つの方法ですが、何事も過ぎたるは何とやら・・・で使いすぎないように気をつけたいものです。

これから申し上げるトランジションの使い分けは、どこかの教科書に書いてあったことではなく、私の感性に基づいていますから、一種の独断と偏見でもあることを最初に申し上げておきます。

まず、トランジションは、どういう場面に使うか、ということを考えてみます。

１．情緒的な映像表現をしたいとき、または追憶の中の場面などの場合
・風景（情緒的な表現の場合）
・人や動物であっても、情緒的に描写したいとき。

このような場面に用いる代表的なトランジションはオーバーラップ（クロスフェードともいう）です。前の場面がだんだん薄くなっていき、次の場面がだんだん濃くなって出てきます。
ふんわりと、柔らかく画面を転換します。人が活動的に動いている場面、たとえばスポーツやハイキング、会話、討論などの場面にはなじまないと思います。ただ、そういう場面であっても過去の追憶のなかの一場面であったりすれば目的にかなうかも知れません。

2．時間的な遷移（移り変わり）を示したいとき

・前の画面との時間的な隔たりが大きいとき。たとえば午前中から午後に飛ぶときなどに使います。「ダブルドア」「ワイプ」などは如何ですか。

・また昔の思い出などを挿入するときにも使います。たとえば「サークル」「ストレッチなどで今の画面の中に昔の画面が拡大しながら入ってくるようにします。この場合は、昔の画面から現在の画面に戻るには「サークル」の進行方向を逆にして昔の画面を縮めていけば、昔の画面から現在の画面に戻った、という表現ができるでしょう。
昔の思い出などを挿入する場合は、他の方法、たとえば画面の色調を変えたり（茶色っぽい色など）、白黒画面にしたり、周辺をぼかしたり、というような加工と併用するのがよいと思います。

3．場所的な遷移を表現したいとき

・画面が違う場所に変わるとき、たとえば会社にいた人が途中の経過を抜きにして家にいる場面に変わったようなとき。このときは、たとえば「ブラインド」とか「フライアウェイ」などが使えるでしょう。「プッシュストレッチ」もいいかも知れません。

4．内容的な遷移を表現したいとき

・今までとは違う内容に画面が変化したとき、たとえばスポーツしていた人が休息の場面に変わったとき。またニュースなどで全く違った話題に転換するときなど。「ページピール（頁めくり）」などは如何でしょうか。

他にもいろいろな場面に用いられるでしょうが、今思いつくのはこのような場合です。あくまでも乱用しない、と言うことは、ズームやパン、などと同じように言えることだと思います。上記の例は、エディウスで使われている用語で表現しましたが、編集ソフトによっては違う表現がされているかも知れません。また一般的な、単純なトランジションを例として挙げましたが、もっといろいろなトランジションが作られています。ただ、あまりに持って回ったような複雑なトランジションを使うのは、見る側に新鮮な驚きを与えるでしょうが、映像の価値を軽くする効果もあると私は独断と偏見で思っております。　■